

令和7年11月19日

課名 土木建築局道路整備課

担当者 課長 前岡

内線 3896

鞆松永線（鞆未来トンネル）における交通量調査結果について

1 要旨・目的

主要地方道鞆松永線（鞆未来トンネル）について、開通から半年後の交通量調査を実施したため、結果を報告する。

2 現状・背景

鞆のまちづくりにおける交通課題の解消の一環として、町なかの通過交通を減少させることによる交通混雑の緩和を目的に主要地方道鞆松永線の整備を進めてきたところであり、令和7年3月30日に鞆未来トンネルが開通した。

開通1か月後、半年後、1年後に交通量調査を実施することとしている。

3 概要

(1) 対象者

道路利用者

(2) 事業内容（実施内容）

ア 調査日時

【平日】令和7年9月25日（木） 7:00～19:00（計12時間）

【休日】令和7年9月21日（日） 7:00～19:00（計12時間）

イ 調査結果

- トンネル開通半年後の平日の交通量について、町なか（西町）は900台、町なか（江之浦～焚場）は1,200台で、開通前と比較して7割程度の減少であり、トンネルについては4,100台であった。
- 朝ピーク時（7時～8時）については、開通前と比較して8割程度の減少であった。
- 開通半年後の結果としては、開通1か月後と同様に大幅な減少が確認できた。

（単位：台／日）

	平 日					休 日
	開通前 (H30.6) a	開通半年後 (R7.9) b ※1	増 減 (b-a) c	増減率 c/a	推計値 ※2	開通半年後 (R7.9) ※1
①町なか（西町）	2,700	900	▲1,800	67%減少	1,000	1,000
②町なか（江之浦～焚場）	3,600	1,200	▲2,400	67%減少	600	1,200
鞆未来トンネル	—	4,100	4,100	—	5,600	4,100

※1 実測した12時間交通量を基に24時間交通量を算出（100台単位で四捨五入）

※2 令和元年度に推計したトンネル開通後の予測交通量

【朝ピーク（7時～8時）交通量】

（単位：台／時間）

	平 日			
	開通前 (H30.6) a	開通半年後 (R7.9) b	増 減 (b-a) c	増減率 c/a
①町なか（西町）	365	65	▲300	82%減少
②町なか（江之浦～焚場）	453	67	▲386	85%減少
鞆未来トンネル	—	466	466	—

(参考) 開通 1 か月後の調査結果

(単位：台／日)

	平 日				休 日
	開通前 (H30. 6) a	開通 1 か月後 (R7. 4) b ※1	増 減 (b-a) c	増減率 c/a	開通 1 か月後 (R7. 5) ※1
①町なか (西町)	2,700	1,000	▲1,700	63%減少	1,000
②町なか (江之浦～焚場)	3,600	1,300	▲2,300	64%減少	1,200
鞆未来トンネル	—	4,100	4,100	—	6,100

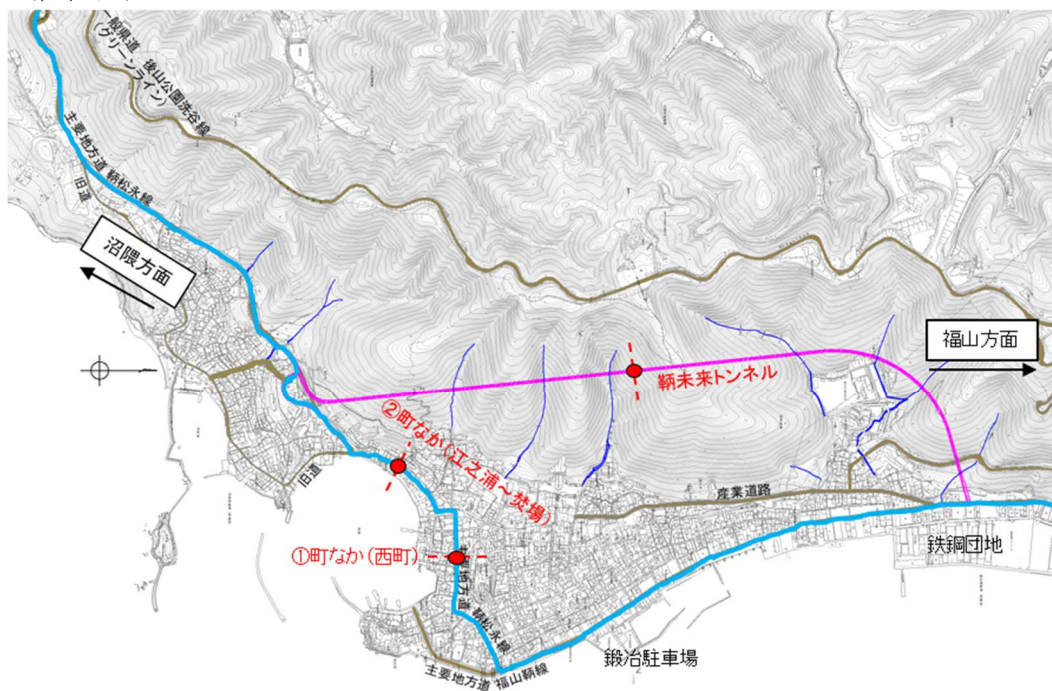
※1 実測した 12 時間交通量を基に 24 時間交通量を算出 (100 台単位で四捨五入)

【朝ピーク (7 時～8 時) 交通量】

(単位：台／時間)

	平 日			
	開通前 (H30. 6) a	開通 1 か月後 (R7. 4) b	増 減 (b-a) c	増減率 c/a
①町なか (西町)	365	82	▲283	78%減少
②町なか (江之浦～焚場)	453	90	▲363	80%減少
鞆未来トンネル	—	420	420	—

(位置図)



(3) スケジュール

(4) 予算

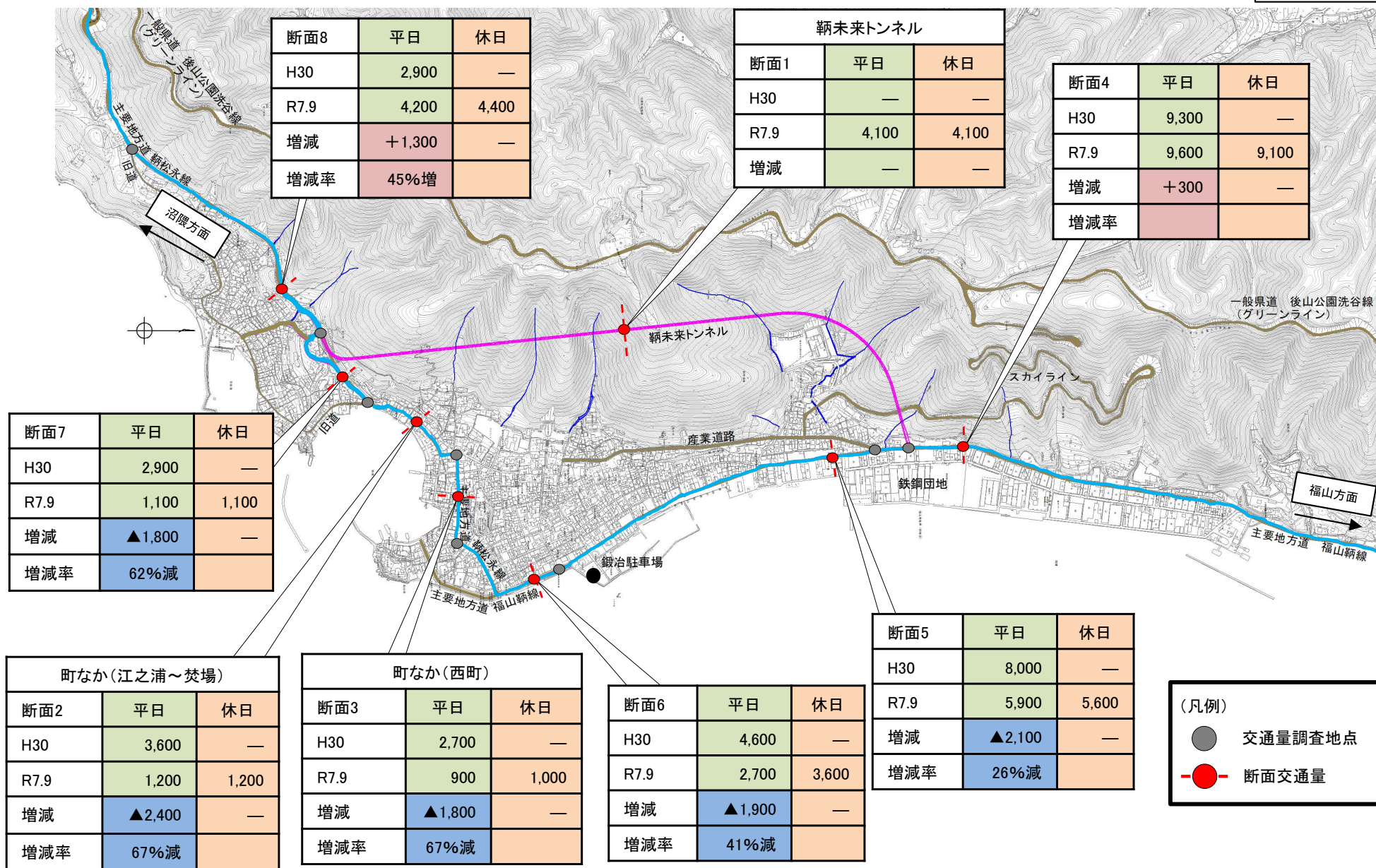
(5) 今後の対応

鞆未来トンネル開通の 1 年後に交通量調査を実施する予定であり、これらの結果も踏まえながら整備効果を整理していく。

また、町なかの交通処理対策である道路拡幅や、観光交通の流入抑制に資する交通・交流拠点などの整備について、引き続き取り組んでいく。

平日、休日の交通量について（単位：台/日）

別紙



時間帯別の交通量について【平日】（単位：台/時間）

